みんなのページ

ひゅーまんたうん

平成22年度 情報特派員 募集！

地域や日常生活の中のホットな情報を提供していただきます。その情報を「広報みずほ」などで、広く町民の皆さんにお伝えしていきます。

文章を書くのが苦手な方も、できる範囲で活動していただけますので、お気軽にお問い合わせください。

仕事の内容

◎まちかどレポートの取材・投稿（400字以内）
◎「広報みずほ」に対するご意見・ご要望の提供
◎情報特派員会議の出席（年2回程度）
◎地域の話題に関する情報提供　など

任　期　4月1日から1年間
対　象　町内在住の方
定　員　15名
申込み　3月15日(月)までに所定の応募用紙を秘書広報課に提出してください。（郵送・ファクス可）
〒190−1292　瑞穂町大字箱根ケ崎2335番地
瑞穂町 企画総務部 秘書広報課 広報広聴係

※応募用紙は秘書広報課にあります。町ホームページからもダウンロードできます。

問合せ　秘書広報課　TEL 557−7497　FAX 556−3401

会員募集　情報倶楽部

陶　芸

★自分だけの湯呑み茶碗を作ってみませんか。初心者歓迎。
団体名　陶芸友の会
日　時　毎週木曜日（月3回）午前9時30分〜正午
場　所　寿楽
対　象　おおむね55歳以上の方
問合せ　二見　TEL 556−4071

空　手　道

★初心者歓迎。空手を通じて、身体を鍛えてみませんか。
団体名　全日本空手道連盟 糸東会 順道館瑞穂支部
日　時　毎週月・水曜日 午後6時30分〜8時30分
場　所　四小体育館
対　象　原則として小学生以上
費　用　月会費3,000円
問合せ　柴田　TEL 554−8949

新　体　操

★見学・体験できます。
団体名　フィリアＲＧ　瑞穂
日　時　毎週火曜日
▶低学年…午後4時20分〜5時40分
▶高学年…午後5時〜6時30分
場　所　中央体育館
対　象　3歳から中学生まで
費　用　入会金3,000円　月会費4,000円
問合せ　今村　TEL 090−2259−8109

特派員レポート ㉝

春の花

3月は花の季節です。皆さんは春の花というと何を思い浮かべるでしょうか。

冬の一番寒い時に咲くロウバイや日本水仙と違って梅はいくぶん暖かくなってから咲きます。それでも梅は冬の花だと思います。私が春一番の花と思うのは白木蓮です。白くて大きいからよく目立ちます。春先に咲く花の木は常緑樹でなければ花の方が先につくので、梅と白木蓮が同時に咲くと真っ白になります。

2月の風景は全体的に灰色です。常緑樹の葉はくすんでいて、鮮やかな緑ではありません。なので、みずみずしい緑も花と同じくらい春を感じさせます。黄花水仙の芽が3月の開花に向けて枯れ草の間から現れると、春が近いと感じます。

桜は散るとすぐに葉が出てきます。ほかの木も同じころに葉をつけ始めます。花も3月以上にたくさん咲きますが、新緑の方が鮮やかなので、4月は緑の季節と考えています。

藤田 久美子

まちかど★レポート 特派員情報

特派員レポート ㉛

人と人との絆（きずな）

公園の木々が立ち枯れているように見え、強風にあおられています。睦月、如月、弥生と暦はなぜか急いでいるように感じます。正月も、はや終わり、特に寒さを感じるのは如月ともいう2月ではないでしょうか。

そんな毎日が寒い早朝、野球のユニホーム姿で登校する中学生に会っています。寒いのにこんなに早く朝練なのでしょうか。まだ少々薄暗い中で「おはよう！気を付けて行ってらっしゃい」と声を掛けていますが、「はい！ありがとう」の声は少々離れたところから返ってきます。こんな何でもないようなことが、何だかうれしく、元気をもらったような気がしています。

人と人との世の中、そんなさりげないことが人の気持ちを和らげるのですね。今年もまた声を掛け合い、皆さんとの絆を大切にできればと思っています。

笑顔の多い瑞穂町、多くの人々がやってくる温かい町、瑞穂にしたいですね。私自身、人々との絆を大切にしよう…これが私の思いです。

久保 好子

特派員レポート ㉜

高山 彦九郎のこと

1月17日、神山義三先生の郷土歴史講演会が開催されました。江戸中期の尊王家高山彦九郎の略伝や日記、瑞穂との接点などのお話をお聞きしました。

彦九郎は1747年上野国（こうずけのくに）（群馬県）新田郡細谷に生まれ、後に天皇を中心にした国家をつくるという夢を持ち日本全国を遊説します。各地の著名な人々と交遊を持ち、志を広めました。京都三条大橋には、皇居を伏して拝する彦九郎の像が建てられています。

また、21年間に及ぶ見聞日記が残されており、その中に彦九郎が父の遺命で富士山登頂の時の「富士山紀行」に、瑞穂通行記録が収められています。それによると、1780年6月10日細谷を出郷してその日の夜、坂戸宿に宿泊。翌11日高萩宿、入間宿を経ていよいよ瑞穂に到着しました。二本木の人家にて昼食、富士山、箱根ケ崎を通り八王子に向かったというお話が皆さんの関心を引きます。

彦九郎は矢立ての筆をなめつつ日記をつづり、しかもわらじ履でさぞかし難儀な道中であったであろうと名状し難い気持ちになりました。無事富士山登頂を成し遂げ、その上霊峰富士を自分の排せつ物で決して汚さず、高い志を後世に残し、47歳の生涯を閉じました。神山先生は、彦九郎のような歴史上の人物が瑞穂町を通ったことを誇りに思うと結ばれました。

石川 朝子

高校生特派員レポート ⑤

瑞穂町駅伝競走大会

瑞穂農芸高校の1年生は、瑞穂町駅伝競走大会にお手伝いとして参加しました。

クラスごとに担当場所に分かれ、観衆の整理や、走っている選手たちの応援が主な仕事でした。

地域の方々や高齢者施設の方々、中学生と幅広い年代の方が参加していました。私の学校からも生徒が2チーム、先生が1チーム出場しました。

スタートしてから次々にランナーが走っている中、私たちは一生懸命応援しました。先生が走ってきたときは一段と盛り上がりました。地域の方々も声を張り上げて応援していました。

地域の方々は「本当に助かりました！」と言ってくれました。また、豚汁と甘酒を用意してくれたり、片付けもしてくれたり優しい方ばかりだな、と思いました。

私は駅伝大会に参加して、とても良かったと思います。奉仕活動は大変だけど、喜んでもらえるとすごく気持ちがいいです。来年もまたこんな風に駅伝に参加したいです。

瑞穂農芸高校　片寄 由美